



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第398号

コロナ禍の降誕祭～でも希望の内に～

松尾 隆

御子イエスの誕生により、私たち人類の救いの歴史が始まりました。

救い主の到来を待ち望む、旧約の人々の祈りの内にイエスは誕生しました。イエスの誕生は世を照らす光となり、差別や貧困に苦しむ人々に大いなる希望と、生きる力をお与えになりました。

毎年祈念する降誕祭、私たち教会は夢と希望の内に準備してきましたが、今年はコロナウイルス感染を意識した、様々な規制の下に此までと違った、雰囲気の中で迎えようとしています。

この感染拡大により、私たちの信仰と希望を象徴する教会の扉が閉じられました。約4ヶ月の間公開ミサは中止となり、ほぼすべての教会活動も中止になりました、このコロナウイルス感染拡大は、私達の信仰生活に大きな影響を与えることとなりました。

私たちは先行きの見えない不安にさいなまれながらも、私たちの信仰のあり方を見つめ直す機会ともなりました。社会が大きく変化しようとしています、教会もその渦中にあり共に共生しながら新しい信仰の道を模索する時かもしれません。

現在公開ミサは再開されましたが、様々な規制の下に実施されています、特に3密、マスクの着用は感染対策の重要な柱となります。降誕祭の典礼もこれらの延長線上にあり、

大勢の人を迎え大きな声で御子を賛美することは出来ません、もちろん典礼そのものにも変わりはありませんが、まずは感染防止を第一に現状出来る典礼を目指しました。

ごミサには日中・夜半ミサのどちらかに参加するよう呼びかけられています、キャンドルサービスや聖歌も歌いません、又、夜半ミサはかなり冷え込みが予想されるので防寒対策も必要です。教会に来られない人もいます、それぞれが様々な立場で迎える、今年の降誕祭ごミサに預かる人も預かれない人も、共に連帯する心を持って祈りましょう。

御子の降誕は私たちに希望の光です。この主の恵みに信頼して、希望と喜びの内に降誕祭を共に迎えましょう。

教皇フランシスコの訪日より1年・・・2面
隣人の為に働く人を訪ねて・・・3面
ガンバ2・お花を生ける会・・・4面
幼稚園から・・・5面・・・教会学校より・・・6面
委員会報告・・・7面・・・お知らせ・・・8面

教皇フランシスコの訪日より一年

主任司祭 フランシスコ・アシジ 谷口尚志

早いもので、先月11月22日の「王であるキリストの祭日」からの一週間をもって教会暦(A年)が終了し、29日からは新しい教会暦(B年)が始まりました。ただ、普段なら、この一年を振り返りつつ、キリストの教えに突き動かされながら回心を促し、経験や教訓などを活かして次の一年はもっと良く過さなければと心に言い聞かせ、クリスマスを迎えるところですが、今年は大きな不安や困難、忍耐などを強いられたなかで過ごしてきたため、普段とは違う、どこか落ち着かないままの日々を送っている方も多いのではないかと思います。しかし、このコロナ禍にあってあらためて問われていることがあることを自覚しなければなりません。それは、「わたしたち教会は何を信じているか、何を伝え、どのように生きているか」ということです。そのためには、神が人類のために試練としてコロナウイルスを与えたという脅しに惑わされるのではなく、神の人類に与える愛はコロナウイルスによって翻弄される苦しみから解放するものであることをわきまえていなければなりません。神の意志は人類への脅しではなく、ご自分の愛に生かされる人類一人ひとりの手を用いて世界が形づくられていくことに向けられているからです。

教皇フランシスコが来日されて一年が経過しました。世界中がコロナ禍に苦しむことになる前に彼が日本を訪問されたことを単なる偶然として片付けてはならないことは明白です。今こそ問われているわたしたち教会の持つ使命に寄り添う言葉を残されているからです。新しい教会暦の待降節を迎えた今、ほんの一部ですが2019年11月24日に長崎市内のビッグスタジアムにて行われた「王であるキリストの祭日」のミサでの言葉を紹介します。

「わたしたちの信仰は、生きる者たちの神への信仰なのです。キリストは生きておられ、わたしたちの間で働かれ、わたしたち皆をいのちの充満へと導いておられます。キリストは生きておられ、わたしたちに生きる者であってほしいと願っておられるのです。キリストはわたしたちの希望です(使徒的勧告『キリストは生きている』1参照)。わたしたちは毎日こう祈っています。主よ、み国が来ますように。こう祈りながら、自分の生活と活動が、賛美となるよう願っています。宣教する弟子としての使命が、来るべきものの証言者や使者となることならば、わたしたちは、悪や悪行に身を任せてはいられません。反対にその使命は、家庭、職場、社会、どこであれ、置かれた場所で、神の国のパン種になるよう駆り立てるのです。」

コロナ禍の困難な時だからこそ、いま一度、教皇の言葉に励まされながら、来たるクリスマスにキリストが人となってわたしたちと共生して下さる事実とその喜びを伝え、共に生きる決意を新たにしましょう。そして、その小さなパン種がコロナ禍の世の中を少しずつでも膨らませていくことができますように。

隣人の為に働く人を訪ねて～(ベトナム人支援)

木枯らし一番が吹いた11月の初め、広い敷地内の畑には5月に苗を植えたサツマイモが収穫の時を迎えていた。丹精込めて育てられた芋掘り体験を共に楽しんで貰う為にこの日ベトナム人のドアンさん親子が招かれていました。広報「からしだね」で水巻教会の外国人信徒を紹介する企画を考案していた私が、ボランティアをされている岩本光弘様のご指導を受けたいと申し出た次の日でした。タイミング良くご自宅を訪問させて頂くことになりました。芋の収穫と、労働の後の食事を楽しまれ、蒸した小芋を食べながら談話をされている所に訪問させて頂きました。地域の国際交流クラブのメンバーとしても世界の隣人に何が出来るのかを日々考えていた時でもありました。日常生活の中、季節の行事に隣人や友人を招いて、働く楽しみ、味わう喜びを共有するという交流の原点を実践されている岩本さんのお話しに多くのヒントを頂く事が出来ました。岩本さんが全国の在日ベトナム人のお世話をなさって感じられた思いは「こちらが心を開いて一人ひとりに何度も声をかけないとなかなか心をひらいてくれないよ」との言葉に要約されていました。「デジタルでは本音が聴こえて来ないから」とアナログにこだわり、支援内容、支援団体が記された外国語と日本語に訳されたチラシ数千枚を岩本さんが自費で制作されている事にも驚きです。次の日もベトナム人の「困った」の声を聴く為に、鳥栖に出向いてチラシを手渡しするんだよ～と言われる岩本さんに「岩本さん、いつも有難うございます。車の運転には気を付けて無理をしないで下さい」と優しくねぎらうドアンさんの言葉に感謝の心がこもっているようでした。

教皇様はコロナ禍の中、分断する世界の国々の人々に命の大切さを訴えるメッセージを発信されています。キリストに倣って行動される我が共同体の岩本さんが私達にも出来ることの模範を示されています。尊敬と感謝の気持ちで、ご健康が守られるよう祈ります。

祈りと信仰が生活の一部となって毎週のミサを受ける若い外国人や日本の若者を見る時、教会には活気が溢れ、信仰と平和による聖徒の交わりが継承される喜びを感じます。

「心は見えないが、心遣いは見える」

日常の愛ある心遣いが隣人の喜びに繋がります。

勇気を出して困っている隣人(外国人だけではなく)に声掛けしてみましょう!

「お元気ですか、何か私にできる事はないですか？」

(次回から、水巻教会の世界の仲間を紹介する予定です)

(あなたが知っている、隣人の為に働く人を「からしだね」でご紹介ください)

広報記者 福嶋東三子





お花を生ける会

活動会員募集中で一す！

川島 幸子

「お花を生ける会」について紹介します

現在会員は 10 名です。3 班に分かれて毎週土曜日に交代で活動しています。

主な活動内容は、日曜日の感謝の祭儀のための祭壇にお花を生けることと納骨堂のお花、結婚式のためのお花を生けています。また「枝の主日」のために枝の洗浄と手に持ちやすいように尖った葉を削り落とします。「降誕祭」の準備として馬小屋の飾り付けもします。

お花を生けるにあたって心掛けていることは、上手に生けるに越したことはありませんが、上手とか下手ではなく与えられた範囲内のお花は、ただ御聖堂を飾るためではありません。感謝の祭儀において神様への感謝と信者の皆さん方の新しいきれいな心をお花に託して奉納するという意味があると思います。私たちは皆さんを代表してお花を生けさせていただいています。

納骨堂のお花もただの飾りではありません。

私たちは死者のために祈りますがすでに亡くなられた方々も私達と共に祈り、私たちの祈りを神様に取り次いで下さっていると信じています。尊敬と愛を込めての献花です。お花を活ける時、それぞれの意味を考えながら活けていきたいと思えます。

ただ、私達にも高齢化の波が押し寄せてきています。会員の中には体調がすぐれない方、ご家族に介護が必要な方を抱えていらっしゃる方もおられます。それでも会員は責任を持って奉仕して下さっています。たった一人で活動される時もあるようです。一人で活動するのはあまり良くないと思っています。万が一気分が悪くなったり、ケガをすれば大変です。また、冷暖房、電気の消し忘れ、鍵のかけ忘れなどないように、お互い確認し合うように数人で活動したいと思えます。

そこで、新しく「お花を生ける会」に入って活動して下さる方を募集しています。後継者としてお若い方、車を出していただける方がいらっしゃれば大変うれしく思います。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 12月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

「聖母バザー」を行いました。今年は園児のみでのバザーとなりましたが、保護者の方が用意してくださったゲームや製作を楽しむ姿が見られました。年長児は、ハートの形にフェルトを織った“ハートバック”を作って販売しました。北九州豪雨の被災地、被災者に対する支援金として送金致しました。

子ども達は困っている人たちのためにできることを考えて、少しずついねいに仕上げていました。

【クリスマス生活発表会】

日時：12月2・3・4日（火・水・木）

【クリスマス会】日時：12月18日（金）

【終園式】

日時：12月21日（月）



水巻聖母幼稚園 TEL：093 201 9559
e-mail:coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>



七五三の祝福式が教会でありました。今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、入園・進級式が簡素化されクラスで行われたので、初めて教会に入った子どもがほとんどで、みんな神妙な様子でした。式の終わりに、神父様から一人ひとり祝福をして頂き、メダイを掛けてもらいました。

月齢が低く、一緒に参加できなかった子ども達のためには、神父様がクラスに来て祝福してくださいました。お陰様でこんなに大きくなりました!これからも、神様に見守れ、みんなで植えたアネモネやフリージャーのように、すくすく芽を出し、自分らしく成長してくださいね!

TEL：050 5212 7759
HP：水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美教職員 一同



教会学校のページ



11月第二日曜のミサ後は聖堂、信徒会館のワックスがけで、大人の信者さんはあれやこれやと大忙し。教会学校の子供たちも、神父様からお手伝いの指示を受け、初めて体験する作業を頑張りました。それは、ミサで使用される道具をきれいに磨くこと！香炉や、燭台、灌水器、ベル、十字架、など金属製でどれもが大事な道具ばかりです。

ワックスを布につけ磨く作業は、結構な力と時間がかかり簡単にはいきませんが、お父さんや、お母さん、ベトナムのお兄さん、お姉さんたちにも手伝ってもらい最後はピッカピカに輝くほどきれいになりました。

司祭館のスリッパも雑巾で拭いて天日干し。使用した雑巾や軍手もお洗濯して最後まで奉仕に努めてくれました。

みんなが磨いたお道具は、これからもミサの中、記念の式の中で輝きと共に重要な意味を持って存在していきますね。本当ににお疲れ様でした。



委員会等報告

2020年11月分

11月度小教区委員会 11月1日

1. 行事予定

- ・12月 4日(金) 共同回心式・中止
- ・12月 6日(日) 小教区委員会
サンパウロ訪問販売
- ・12月 11日(金) ゆるしの秘跡

10:00-12:00、
19:00-20:00

※信徒会館と司祭館で分散して実施。司祭がこの時間帯に待機しています。

なお、ゆるしの秘跡はいつでも受けることができます。

- ・12月 13日(日) 街頭募金→中止
子どもの募金
- ・12月 18日(金) 役員会 19:00
- ・12月 24日(木) 降誕祭夜半ミサ
20:00から
ミサ後のパーティーは中止

- ・12月 25日(金) 降誕祭 ミサ
10:00から

※12/24、12/25の降誕祭ミサはいずれか一方に参加してください。

- ・12月 27日(日) 初聖体
アベイヤ司教様司式
ミサは1回。9:30です

- ・12月 31日(木) 16:00～

感謝の集い(教会の祈り・聖体賛美式)

- ・1月 1日(金) 元旦ミサ 10:00～
成人のお祝い、車の祝別

※ ミサはこの1回のみ

- ・1月 10日(日) 小教区委員会

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 広報委員会

・ベトナム人の方々の紹介記事を予定(インタビュー形式)

・各地区に依頼:地区のニュース原稿寄稿をお願いします

(2) 地区名簿について

・濱口取りまとめで名簿を最新化します

(3) ホームページの管理について

活動グループの紹介覧を設けるので、取材に行きます。

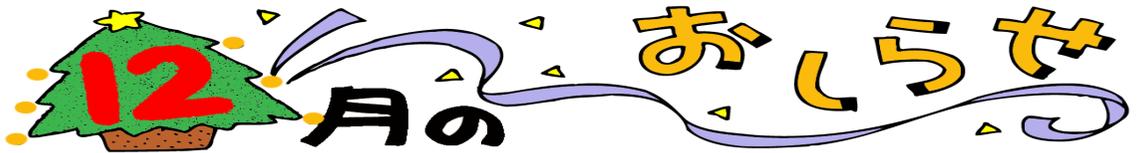
(4) 初聖体

梅宮遥、樽角友折、平田凌愛、宮本絹佳、福田千尋

(5) 成人式について

坂本素珠(折尾)、野田宏人(折尾)、宗真理恵(折尾)、川島春菜(中間)、城龍彦(高須)、兼本愛美(遠賀)、池松由貴(吉田)





12月の おしらせ

★特別献金★

・10月18日 世界宣教の日献金
24,500円
ご協力、ありがとうございました。

★降誕前夜祭・降誕祭ミサ★

今年は、24日、25日のどちらかで参加をお願いします。いずれの日もミサ後のパーティーはありません。

日 時：12月24日 20時～
12月25日 10時～

★ゆるしの秘跡★

今年度は、例年のように共同回心式は行いませんが、下記の日程で、神父様をもう一人お迎えして行います。

日 時：12月11日(金)
10時～12時
19時～20時

信徒会館と司祭館で分散して実施します。待つ場所が信徒会館・司祭館の外になると思いますが、参加される方は防寒をしてお越しください。

なお、ゆるしの秘跡はいつでも受けることができます。

★初聖体ミサ★

日 時：12月27日(日)
午前9時30分～ 1回のみ
アバイヤ司教様の司式によるミサです。

★感謝の集い★

日 時：12月31日(木) 午後4時から
教会の祈り、聖体賛美式があります。

★元旦ミサ★

日 時：1月1日(金)
午前10時～ 1回のみ
成人のお祝い、車の祝別があります。
新年茶話会はありません。

★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月6日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月20日からお渡しします。

★ホームレス支援より★

ホームレス支援のために、9月から10月にかけてお米の寄付をお願いしていましたが、たくさんの方々にご協力いただきました。おかげで55kgものお米が集まりました。ありがとうございました。

